

担い手支援にも力を入れています

南丹市美山町の京地どり飼育農家から、当センターに「新たに飼料用米の給与を考えており、えさの変更を伴う飼養管理について助言をいただきたい」との相談が寄せられました。

今回、生産者の要望に添った添加量での飼料用米配合メニューを提案するとともに、現地で飼育実証を行いました。生産者からは、「飼料米の特徴を掴むことができた」との感想が寄せられ、秋から本格的に給与することになりました。

当センターは、今後も府内のがんばる若手農家に対して、営農スタイルに合わせた助言を行い、経営を支援していきたいと考えています。



飼料米給与実証の経過を聞き取り



鶏舎内で走り回る京地どり